

大地の声

2026 August

8

JA CHIBATOUKATSU



野田市では、本年度も稲の健全な育成を目的として玄米黒酢の散布を行いました。

詳細は8ページをご覧ください。

ホームページ



役員就任のご報告

このたび当組合代表理事組合長 湯原 靖雄は逝去いたしました。謹んで哀悼の意を表するとともに、これまでの多大なるご尽力に深く感謝申し上げます。

なお、令和8年7月7日の臨時理事会におきまして、代表理事組合長並びに代表理事専務が選任され就任いたしましたのでご報告申し上げます。



代表理事組合長 高橋 敏行

このたび、代表理事組合長に就任いたしました。組合員の皆さまの信頼に応え、地域農業とJAの発展に誠心誠意取り組んでまいります。



代表理事専務 大塚 裕生

このたび、代表理事専務に就任いたしました。責任の重さを深く受け止め、組合員の皆さまに信頼されるJA運営に全力を尽くしてまいります。

臨時理事会報告 - 7月 -

7月7日の臨時理事会にて、下記の議案が審議されました。

協議事項

- (1) 故 湯原 靖雄 代表理事組合長の葬儀について
- (2) 代表理事組合長の選任について
- (3) 理事の欠員について
- (4) 特定理事の選任について
- (5) 代表理事専務の選任について
- (6) 組合長等に事故ある時の代位順位について
- (7) 代表理事組合長の事務引継ぎに係る立会人の指名について

JAちば東葛 Q&A

6月の総代会実施にあたり

組合員の皆さまを対象にアンケートを実施いたしました。

(実施期間 6月13日～6月19日)

今回、お寄せいただきましたご質問・ご要望をもとに

Q&A方式でお答えいたします。

Q 組合員組織の構成員数の増減が分かれば良い
※JAちば東葛自己改革工程表(数値編)で組合員新規加入者数が200人→448人(令和7年度実績)に増えているが、上記の構成員数の増減に反映されているのか?
A 構成員の増減については、次回総代会資料にて前年度との対比がわかるよう、前年度と今年度の枠を作成し、増減についてわかりやすくなるよう、構成の検討をいたします。
なお、組合員の新規加入者は出資をいただいた組合員数の数値であるため、組合員組織構成員数への反映はありません。
Q 総代会資料(冊子)について、保管・処分の負担軽減のため、紙媒体ではなく電子データ(PDF形

式などで読める形で提供いただくことは可能か。

また、Aー等のデジタルツールを用いた効率的な内容理解のため、電子データでいただけると、招集通知や参考資料の議案情報と合わせ、Aーなどのテキスト解析ツールに読み込ませて効率的かつ正確に内容を読み解き、より理解を深めることができる。組合としてもペーパーレス化や環境負荷の軽減、業務効率化につながる面もあるのではないかと。もし可能であれば、メールへの添付や、ダウンロードできるURLのご案内を共有してほしい。

A 総代会資料の電子データ化について、環境負荷の軽減と業務効率化を目指す観点から、紙版の冊子提供を継続しつつ、電子データ版の併用を検討いたします。電子版での提供にあたり、個人情報取り扱いやセキュリティ面での対策も留意し、総代会資料の配布方法を検討いたします。

Q 総代会資料が6月13日に届いたが、非公式のものも含め、他の組織では数か月前から月日の連絡がある。もっと早く開催日の通知はできないのか。

A 令和6年にも同様のご指摘をいただきました。周知が行き届かない状況となっており、申し訳ございません。当組合として、正組合員の方へ配布している広報誌「大地の声」に昨年より1ヶ月早い4月号から6月号までインフォメーションの欄に日程を掲載させていただいております。今後も総代会の日程について情報が届くよう掲載方法を工夫してまいります。

Q 若手職員の退職が多いため、配属について希望を聞き長めに配属してはどうか。

A 職員の配属につきましては、組織運営上、適材適所を基本としておりますが、職員の動向について十分配慮できるよう、毎年総務部で行っている面談時に本人の希望や意見を聞き、全体のバランス等総合的な判断の上、配置しております。なお、当組合の人事ローテーション実施要領では、同一部署への長期的な滞留は職員の視野を狭め、組織全体の柔軟

性を欠く恐れがあるとの考えから、配属期間に一定の目安を設けております。そのため不祥事未然防止の観点から、特定の部署に長期にわたって配属し続けることは難しい規定となっております。今後もより丁寧に職員とコミュニケーションをとり、職員が安心して働ける職場環境づくりに努めてまいります。

Q JAちば東葛は「人」「物」「金」「職員教育」についてどのような位置づけなのか。

また、県内の他農協と比べて、どのくらいの位置づけなのか。(1)職員数 (2)預金状況 (3)業績状況

A 「人」「物」「金」「職員教育」の位置づけについては、どれも重要ですが、「人」「職員教育」については、第6次中期経営計画や事業計画の重点事項として公平な人事制度、職場環境の整備に取り組んでいます。また、令和8年度より人事制度の見直しを行い、ES(職員満足度)の向上に取り組みを始めました。

県内の他農協との位置づけにつきましては、まず当組合の令和7年度の実績では(1)職員数237人(2)貯金残高2,480億円(3)業績状況(事業総利益)20億円となっております。組合員数や店舗の数も各農協で大きな違いがありますし、地域性(都市農業地域や農村地域)の違いにより事業の規模が異なっております。都市農業地域では信用事業に強みを持っていますし、農村地域では購買・販売事業に強みを持っています。また、販売事業につきましても農産物の生産品目も違いますので、同じ事業でも取り扱っている商品や内容に違いがありますので、比較や位置づけというものは、見方によって変わってしまうという事をご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 住宅ローンについて、約30年以内の金利上昇があり、今後も利上げが推定されているが、当組合の金利が都市銀行やメガバンク等よりも高いとのこと。なぜなのか。せめて、他の金融機関と同等にならないのか。

のか。

A 貸出金利の設定につきましては、他金融機関および市場環境の変化等を踏まえ、定期的に検討を重ねております。当組合は金融サービスだけでなく、農業や地域を支える総合的な役割を担っております。今後も組合員の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 農協で他行振込の手数料が高いので下げてほしい。また、他行では他行で使用可能な共通振込用紙を使用しているのに、農協も他行でも使用可能な振込依頼書に変えてほしい。

A 振込手数料につきましては、令和8年4月1日に他金融機関の手数料を把握した中で、当組合の手数料を改定いたしました。振込用紙につきましては、農林中央金庫より定められた全国統一版の様式となっており、他金融機関の様式はご利用いただけません。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 現在、営業時間が午後3時までの営業となっているが、一部都市銀と同様に窓口の営業時間を午後5時まで延長してほしい。

A 窓口の営業時間の延長につきましては、利用状況や人員配置等を含め、現在の窓口営業時間とさせて頂いております。また現在、当組合は、ATM・ネットバンク・JAバンクアプリプラス等の非対面取引により利便性向上に努めております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 国税を納められるようにしてほしい。

A 国税収納代理店になるためには農林中央金庫の条件を満たすことが難しいため、取り扱えることができません。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q SDGsプロジェクトチームの重点取組みの休耕地・耕作放棄地への動きをどのようにやろうとしているのか。また、土地所有者はどうすれば良いのか？アドバイス・PRをした方が良いのでは？

A 休耕地・耕作放棄地の取り組みについては、農協施設の一部を利用した職員の農業体験と併せた活動を行っております。また、過去には農家さんの休耕地を借りて、職員による薩摩芋の栽培もおこないました。こういった活動を通じて職員で農業や休耕地の課題を身近に捉えるように取り組んでおります。SDGsプロジェクトチームではありませんが、ノウフク連携を活用し、休耕地・耕作放棄地で栽培を行う取り組みを始めました。SDGsプロジェクトチームは休耕地の問題を解消する可能性を検討する取り組みを行っています。

Q アンケートを聞くだけで回答がないため、結果を広報誌に載せてほしい。

A 毎年8月の広報誌に頂いたご意見とその回答を掲載しております。

Q 農業まつりの粗品でバケツ以外も選びたい。

A バケツにするなら持ち手が抜けないものに変えてほしい。

A 農業まつりの記念品のバケツについては、毎年一定数の方からバケツ以外のものが良いという意見もございます。一方でバケツを楽しみにして頂いている意見も多数ございますので、検討してまいります。

Q 農協の組織力を生かし、遊休農地の活用をしてほしい。例えば、農業法人を設立して、大規模化により、上記農地の借用や取得により農地の荒廃を止めてほしい。

A ご提案いただきました「遊休農地の活用」につきましては、当組合といたしまして、地域農業の持続的な発展と農地の有効活用は重要な課題であると認識しております。

ご要望の通り、農業従事者の減少や高齢化が進む中、遊休農地の増加を食い止め、活用していくためには、機械化や効率的な営農体制の構築が不可欠です。当組合といたしまして、農地中間管理機構も含め、地域の実情に応じた農地の集積や、担い手へ

の農地転換、スマート農業技術の導入支援などを通じて、少しでも遊休農地が解消されるよう、関係機関と連携しながら検討してまいります。

また、遊休農地の中には地域によって借り手のニーズが存在する場所もあり、マッチングの機会を逃さないことは非常に重要であると認識しております。

Q 資材高騰に対する対応がみられない。

A 昨今の資材価格の高騰は組合員の皆様の経営に大きな影響を与えていると認識しております。当組合としまして、共同購入によるスケールメリットを活かした価格抑制への取り組みを強化しており、代替品の提案や省力化技術の普及を通じて、少しでも生産コストの低減につながるよう、支援を努めております。また、行政の補助事業等の情報提供も迅速に行い、皆さまのご負担軽減に注力してまいります。

Q 段ボール等の資材について助成をお願いしたい。

A 近年、段ボールをはじめとする出荷資材の価格が全国的に上昇しており、組合員の皆さまの経営に大きな影響を与えていることは、当組合として十分認識しております。

しかしながら、現時点ではJAを取り巻く経営環境や財政状況などを総合的に勘案すると段ボール等の資材費に対する助成制度を設けることは難しい状況です。

当組合としましては、当面の間、資材等の共同購入による価格交渉や仕入の効率化などを通じて、少しでも組合員の皆さまの負担軽減につながるよう、努めてまいります。

Q 農業機械専門の職員を経済センターに配属してほしい。

A 現在、農業機械の専門職員は全農との共同事業により野田市に所在する県北西JA広域農機センターに配置されており、経済センターに専門職員を

常駐配置することが困難な状況です。故障や緊急時には県北西JA広域農機センターの専門職員と円滑に連携し、迅速に対応してまいります。また、専門的なメンテナンス体制を補完することで、皆さまの営農に支障が出ないよう努めてまいります。

Q 資材購入先で特定の所があるが、他のところからも相見積もりをとれるようにならないか。

A ご指摘の通り、複数の業者から比較検討できる体制は、コスト低減を図る上で非常に重要であると認識しております。現在お取引のある業者以外にも、数社の資材業者が存在しており、皆さまのご要望に応じてより柔軟に相見積もりを取れる体制となっております。具体的には、当組合が取りまとめる資材価格が適正であるかを確認するため、他の優良な業者からも積極的に見積もりを取り入れ、より安価で安定した資材提供ができるよう努めております。

Q 農業用ハウスの建設やリフォームの手数料が高いのではないか。

A 昨今の資材高騰が続く中で、組合員の経営負担を最小限に抑えることは、当組合にとっても重要な責務であると認識しております。

農業用ハウスの建設やリフォームにつきましては、品質や安全性を確保しながら適正な価格で施工できるように取り組んでおります。

手数料につきましては、人件費や事務費などを踏まえ、適正な施工の確保や円滑な事業実施を支えるための費用として設定しております。また、特定の業者に限定することなく、複数の施工業者から相見積もりを取り、適正な競争をおこなうことで、工事費等を含めた総コストダウンに努めております。今後組合員の皆さまの声を反映しながら、安心してご依頼いただけるよう努めてまいります。

本格出荷に向け作況を確認―柏市果樹組合

柏市果樹組合は6月30日、作況調査を実施し、組合員26名と東葛飾農業事務所の指導員が参加しました。

作況調査では、高柳支部の高謙梨園、藤ヶ谷支部の濱田果樹園、泉・箕輪支部のマルイ梨園のほ場の3か所を巡回し、各支部の生育状況や栽培管理について確認しました。

渡来斉組合長は「本日は、各支部の生育状況を確認するとともに活発な意見交換を行い、約1か月後の本格的な販売に向け栽培管理を徹底していきましょう」とあいさつし、今後の高品質な果実の出荷に向け、組合員の意識を一つにしました。



生育状況を確認する生産者

地域みんなで育てたひまわりが満開―船橋市農業士等協会



ひまわりでめいろを作りました

船橋市農業士等協会は、7月4日(土)船橋市立金杉小学校に隣接するひまわり畑でひまわりフェスティバルを開催しました。

このひまわり畑は、フェスティバルに向けて毎年、地域住民や小学校の児童、農業士等協会が協力し、種まきから管理まで取り組んでいます。今年も約2万本のひまわりが咲き誇り、訪れた方々を魅了しておりました。

会場では、新鮮な農産物の直売会も開かれ、採れたてのトウモロコシや枝豆をはじめとした旬の野菜が並び、多くの人でにぎわいました。

新体制の東部支店、東部地区経済センターをご紹介します！

このたびの店舗再編により、6月より新たな体制で東部支店と東部地区経済センターがスタートしました。職員一丸となり更なるサービス向上に努めてまいりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

東部支店



支店長
勝柴 亮一

このたび店舗再編に伴い、支店長を拝命しました勝柴でございます。風早支店、東部支店を管内とした新たな体制のもと、組合員・地域の皆さまとのつながりを大切に、安心してご利用いただける支店づくりに努めてまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈職員紹介〉

副支店長 石井 謙一、堂新橋 大輔
職員 金子 宏美、濁川 潤一、浅野 陽子
藤方 大介、山崎 淑美、越前 貴之
山田 正子、伊藤 千尋、福島 仁
本村 優、久保田 和樹、布施 遥
藤井 雪姫乃、海老原 弘樹
小笠原 由姫、日下 智晶
パート職員 藤原 智子、渡邊 健、菊地 八重
柳澤 啓太

東部地区経済センター



センター長
原田 裕士



経済事業の集約に伴い、センター長を拝命いたしました。組合員・利用者の皆さまにより便利で質の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。地域に寄り添い、信頼される経済センターを目指してまいりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈職員紹介〉

副センター長 日暮 勝夫
職員 秋元 陽子、金子 厚、
岩井 久仁、秋谷 大介
高橋 佑輔、増田 拓真
小林 靖明
パート職員 椎名 栄、鈴木 倉蔵、長妻 稔
成島 正彦、横田 陸